

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		他生物種に対する保護感覚に関する認知科学的研究			
研究テーマ (欧文) AZ		A cognitive approach to protective feelings for other species			
研究氏 代表 者	カナ CC	姓) アケチ	名) ヒロノリ	研究期間 B	2016 ~ 2018 年
	漢字 CB	明 地	洋 典	報告年度 YR	2018 年
	ローマ字 CZ	Akechi	Hironori	研究機関名	東京大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構 ・ 助教			
概要 EA (600 字~800 字程度にまとめてください。)					
<p>環境保護や動物保護について考える際には、人間の実際の保護感覚を知ることが重要である。環境破壊や動物愛護の問題が生じる原因として、保護感覚に関する人間本位性や保護感覚の文化差が考えられる。本研究では、一般の人々の保護感覚に関する基礎的データを取得した。</p> <p>まず、人間本位性について検討するため、特定の動物による加害行為の被害者が人間か人間以外の動物種かでその動物に対する保護感覚が異なるか調査を行った。結果、被害者によって保護感覚の違いは見られなかった。一方、加害行為の許されなさについては、被害者が人間である場合の方が人間以外である場合より高く、人間本位性が認められた。</p> <p>また、環境に対する影響によって保護感覚が異なるかどうか検討するため、人間／哺乳類／昆虫の行動が、環境に対して良い／悪い影響を与える場合について調査を行った。結果、悪い影響を与える場合にのみ、昆虫に対する保護感覚は他の2種より低かった。また、哺乳類、昆虫に対する保護感覚は、環境へ良い影響を与える場合に比べて悪い影響を与える場合に低かったが、人間に対しては効果が見られなかった。このことは、われわれは、人間が環境に悪影響を与えても人間の立場は保持されると捉えていることを示唆している。</p> <p>さらに、文化差について検討を行うため、日本人と米国人を対象に、7つの動物種(犬、鯨、豚、鶏、トカゲ、魚、タコ)に対する保護感覚について調査を行った。全体的に、日本人は米国人に比べて保護感覚が低かった。また、動物の種類によって文化の効果は異なっていた。動物が感じる心を持っていると感じる度合いも、日本人は米国人に比べて低かった。そのため、動物の心に関する感じ方の違いが保護感覚の文化差に繋がっていることが示唆される。</p> <p>今後は、保護感覚が環境・動物保護の活動にどのように繋がっているのか、また、どうすれば繋がるのかに関する詳細な検討が必要である。</p>					
キーワード FA	認知科学	道徳性	人間本位性	保護感覚	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA									
研究機関番号 AC					シート番号									

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要^{EZ}

This study investigated our protective feelings for animal species as a function of the animals' aggressiveness and good/bad effects on the environment as well as how the protective feelings differ across cultures. It was found that people tend to make human-oriented judgements when they are asked their protective feelings for animal species and impermissibility of the animals' behaviours. A survey of Japanese and American people found that there are cultural differences in the feelings for various animal species.

